



プロジェクト名称

Summer Saturday Project

プロジェクト活動概要

豊洲地区の小学生に対し、本プロジェクト運営メンバー、運動系のサークルの芝浦会（ダンス）・SORAN（ソーラン節）の3、4年生が中心となって今までサークルで習得してきた技術を教え一緒に作品を作り、8月2日(土)に本学の豊洲キャンパス開催予定の豊洲ふれあい納涼祭に小学生と参加する。作品内容はソーラン節とダンス2種類で、活動はテクノプラザにて7月に練習会を3回行なう。またそれらの活動とは別に交流会や納涼祭の後日に懇親会も行なっていく。交流会は紙で作った風鈴づくりと豊洲キャンパスの中庭で行なう水遊びのイベントの二つで構成されていて、夏をともに過ごすプロジェクトの仲間と仲良くなることやまた豊洲地域の子供達との交流を目指す。懇親会では、納涼祭で終わってしまうという一過性のイベントではなく、DVDを再生しながらプロジェクトを振り返るという事とともにこれからの豊洲の繋がりを作るために行なう。これらのイベントや納涼祭を通じて、参加者である小学生以外にもその保護者や友人、また豊洲地区の住民、そして学生が一緒になってイベントに参加し作品を作り上げる事によって、豊洲地区での人々のふれあいの活性化や豊洲への愛着を深めていく。

活動状況報告 & 活動写真など 活動期間：2015年1月1日～3月31日

○12月21日のグランアルト豊洲クリスマス会を以て今年度の活動は終了

8月の豊洲ふれあい納涼祭出演を目的としたプロジェクトの活動であったため、今年度の活動は終了致しました。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

プロジェクト継続の計画については未定となっておりますが、このプロジェクトによる地域との交流の結果、街の中で参加者と遭遇し話かけられたり挨拶をするなどの機会が生まれました。

このような中で参加してくれた小学生やその保護者様以上に参加した学生自身が「学校がある場所」ではなく「豊洲で生活している」という自分の居場所としての愛着を感じるきっかけとなりました。

そしてプロジェクト予算や日程の都合上参加できなかったのですが、他の豊洲でのイベントに誘って頂く等、地域交流として大学生の参加が希望されていることを感じました。

地域の活性化のためにはより多くの世代が交わり、同じ目標に向かって一致団結することが必要です。

このプロジェクト以外にも大学生が積極的に地域に関わっていく環境づくりや大学生自身の積極的な姿勢が重要であると感じました。